

済生会新潟第二病院 公開・オプトアウト書式

①申請番号	E17-16
②研究課題名	ESBL 産生菌血流感染におけるアウトカムに影響する因子の検討：新潟県内多施設共同研究
③情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	近年 ESBL 産生菌による菌血症は増加していると報告されています。そこで、県内多施設の ESBL 産生菌血流感染における抗菌薬治療状況を調査し、感染症のアウトカムに関連する因子を検索、ESBL 産生菌血流感染治療におけるカルバペネム系抗菌薬の投与の影響を検討します。 使用するデータは個人が特定できないように匿名化を行い、電子ファイルにて共同研究機関（下越病院）へ提供します。
④利用または提供する情報の項目	年齢、性別、血液培養からの検出菌名と抗菌薬感受性、抗菌薬治療歴、治療期間、治療結果、その他感染症に対して行った治療
⑤対象者及び対象期間	2012 年 1 月から 2016 年 12 月までに血液培養から ESBL 産生 E.coli、K.pneumoniae、P.mirabilis が陽性となった患者さん
⑥利用の範囲	済生会新潟第二病院薬剤部及び下越病院薬剤部を含む新潟県内の病院施設
⑦試料・情報の管理について責任を有する者	済生会新潟第二病院 薬剤部部長 内坪誉歳
⑧問い合わせ先	済生会新潟第二病院 薬剤部 高橋成博 025-233-6161

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。

なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。